

# とおかまち

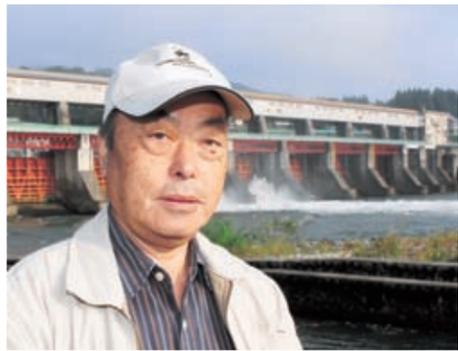


## 信濃川を肌で感じる

10月3日(日)、妻有大橋たもとの、信濃川水なしサミットが開催されました。市民の心から遠ざかりつつある信濃川に親しんでもらおうと企画されたこのイベント。その中でも、悠々と流れる信濃川で行われたラフティング体験は大人気でした。普段経験できない貴重な体験に、参加者は歓声を上げて楽しんでいました。  
(関連記事2ページ)

### 主な内容

- 特集：信濃川～今と昔、そして未来へ～ …… 2-7
- 第43回十日町市美術展 …… 8-9
- 産業フェスタ開催／協働のまちづくり情報 …… 10-13
- 表彰おめでとう／文学講座 ほか …… 14-15
- 市民スポーツ大会結果 ほか …… 16-17
- 水道事業／地産地消 ほか …… 18-19
- 地域の風～支所からのたより～ …… 20-21
- ときめきネットワーク／元気予報 ほか …… 22-23
- まちの話題TOPICS／お知らせ・ガイド …… 24-27
- ジュニア芸術祭 -下条小学校- …… 28



試験放流の大切さを説く

中魚沼漁業協同組合組合長  
長谷川 克一さん (66歳)

信濃川の水が豊富だった昭和15年くらいまでは、サケやマスなどが産卵のため、たくさんそ上げてきました。市内でも川魚が盛んに行われ、販路を求めて行商に出かけたほどです。市内周辺の信濃

川では、昭和5年ごろは年間4万尾ものサケを捕獲していました。しかしその後、水力発電開発に伴いダムができてからは状況が一変し、昭和30年ごろには40尾程度まで大きく減少していきました。

水利権が取り消され全量が放流されていた昨年は、160尾のサケが確認されました。地道な稚魚放流活動のかいもあって、7トンの放流量のときと比べるとサケのそ上数は大きく増えています。

今後5年間の試験放流を監視していくことはとても大切なことです。自然の状態でも雪解け水や台風などで川の流量は大きく変化します。一定流量を維持しつつ季節に応じて流量を変化させることで、川の生態系の維持はある程度見込めると思います。ダムの取水発電と下流の河川環境の維持。相反するものですが、JR東日本と市民とで互いに負担を負いつつ今後の共生に向けて真摯に話し合い、未来の良い姿になるように努めていくことが大切だと思います。



サケやマスの漁法は10種類以上あります。写真は「カキアミ漁」。かつてこの辺りで撮影されたもので、川を上ってくる魚や産卵の魚などをねらって網ですくい取りました。



「信濃川・1世紀に渡り共にしてきた取水ダム」

今と昔、そして未来へ

日本一の長さを誇り、流域面積が日本第3位の大河信濃川。雪解け水や台風で幾多の水害に悩まされながらも、かつては市内でも漁業が盛んに行われていました。宮中取水ダム（以下宮中ダム）の取水開始から約70年。途中幾度の発電設備拡張工事を経て、宮中から小千谷市までの38・5km区間は、その姿を大きく変えました。信濃川とともに歩んできた市民。国策が進められてきたダム建設。その後、時代の流れも大きく変わり、環境保全が声高々に叫ばれるようになった今日。今までの信濃川の歴史を振り返り、これからの信濃川の未来を考えます。

大河という名の枯れ川

「大河信濃川」。市内の信濃川は、多くの人が抱くその姿とはほど遠い「枯れ川」をさらしています。水害で幾度となく流された十日町橋。昭和26年に現在のコンクリート製の橋脚になり、流されることはなくなりまりましたが、川の水は少なく、無骨な橋脚があらわになり、かつての川の面影は感じられなくなりました。

宮中ダム上流付近は、年間平均流量毎秒250トンといわれていますが、ダムを通過した途端、川の水が毎秒7トンと一気に減っていました。広い川床を流れる小川は、水深が浅く、夏季には水温が30℃を超えてしまい、水生生物が住みづらい環境になりました。



かつて至るところで見た川遊びをする子どもたちの姿はもう昔のことです。そのような姿が約20年にわたり続いています。

姿を表した大河信濃川

平成20年9月、宮中ダムで不正プログラム設置による超過取水が発覚した違法取水問題。東日本旅客鉄道(株)（以下JR東日本）が違法取水問題で21年3月10日に水利権を取り消されて以来、1年以上にわたって市内の信濃川は、悠々と流れる本来の姿を見せていました。その後、JR東日本は水利権再申請に向けて、市民に謝罪。協定書締結にかかわる市議会の議決を経た後、22年3月30日に市は中魚沼漁業協同組合と十日町土地改良区と共に、JR東日本との水利権再申請の同意書に調印しました。そしてJR東日本は、5年の期限付きで6月9日に国土交通省から河川法に基づく水利権を得ました。



水利権取り消し前には、宮中ダムから下流域に流される維持水量が毎秒7トンだったものが、今後5年間の試験放流では、環境への影響を調査

水利権取り消し後に、本来の川幅を現した信濃川宮中ダム。水利権取り消し前の信濃川（2ページ下の写真）の姿と比べるとその違いが分かります。しながら毎秒40〜100トンの範囲で維持水量を保つものとなりました。

# 信濃川の歴史

## ◇2年半に一度は水害に

## ◇生活に欠かせない交通の要所

## ◇宮中ダムの歴史

### 水害の歴史

「信濃川の歴史は、かつては水害との戦いの歴史でもありました」と語るのは、古文書整理ボランティアで代表を務める丸山克巳さん（南鏡坂・69歳）。丸山さんたちは、信濃川流域高島地区の古文書保存整理作業を行いました。丸

山さんは続けて、「元禄11（1698）年から、信濃川流域の度重なる洪水の被害が記録されています。洪水で最大91%の耕地が失われまし」と話します。高島区有文書は、その苦闘を物語るもので、現在そこに広がる美しい田畑は、先人の努力と汗の結晶です。

十日町市史を探ると、明治時代だけでも40回を超える水害に見舞われ、2年半に一度は大水害を被っています。昭和に入っても水害は止むことがありませんでした。中魚沼郡内信濃川水害年表によると、川にあふれた水が多いときには7mも水位を上げ、田畑や人家の流失、浸水

は数えきれないほどになりました。また、洪水の時期は稲の実る7〜8月ごろが多く、農民の苦しみはたいへんなものでした。

### 交通の歴史

急流や屈曲が多く、たびたびはらんした信濃川は、近世以来重要な交通運輸手段の舟運の普及も難航させました。場所によっては舟が通れず、イカダを流し下る場所もありました。

しかし、荷車が運送に使われるまでは信濃川の舟運と人馬の背が主な輸送手段で、舟運は3〜4時間かけて長岡まで物資を運びました。帰りはさらにたいへんで、舟に縄を付けて引いて帰ります。帰りには3〜5日かけて帰ったものなどいいます。

そのような信濃川では、荷舟のほかに、長舟と呼ばれる作業船や渡し船が活躍していました。長舟は博物館に展示されています。

### 宮中ダム下流域減水の歴史

宮中ダムによる信濃川減水の歴史は、第1次世界大戦後の大正8年、当時の鉄道省が東京の電車運転の電源として信濃川発電計画を立てたときにさかのぼります。

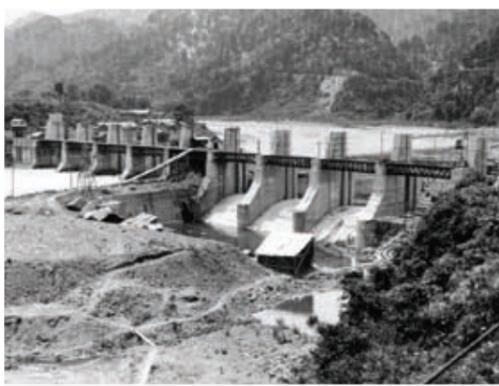


昭和24年8月31日に上陸したキティ台風で被害を受けた十日町橋。十日町橋は過去に何度か増水で流されました。

キティ台風では、田畑が流され多くの被害を出しました。

増水時にはあられ川でしたが、普段の生活に渡し船は欠かせないものでした。この地域には14か所の渡し場があり、「木落の渡し」は昭和39年まで続いています。

川の流れに逆らい、舟を引いて帰る、曳き舟の様子。



宮中取水ダムの工事の様子（昭和12年7月）。



浅河原調整池ダム堤体工事の様子（昭和6年8月）。



第5期工事で作られた水路トンネルの一部。このトンネルは直径7.6mあり、当時最新の工法が採用されました。

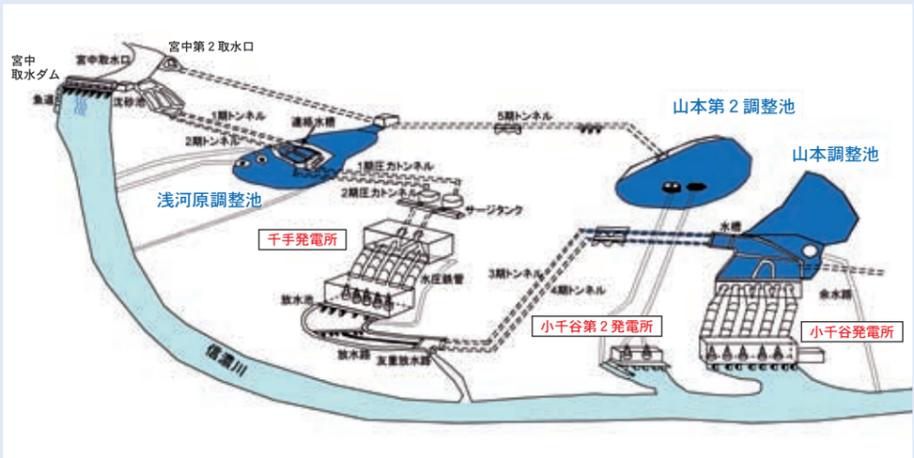
まで導水路を掘削し、高低差100mを利用して小千谷で発電を行うというものでした。しかし、本格工事が始まる前の大正12年、関東大震災に見舞われ、鉄道省はその復旧工事に追われて財政難に陥り工事を中断。その後の不況で発電工事は中止されました。しかし、計画だけは継続され、昭和5年から再開されます。

落差50mで発電。その水をさらに小千谷に導いて、落差50mで発電する2段発電が採用されました。宮中〜千手間が第1期と第2期工事、千手〜小千谷間が第3期と第4期工事に位置付けられ、第1期工事終了の昭和14年に千手発電所で5万キロワットの発電が開始されました。その後、第4期工事が終了したのは昭和44年のことでした。

定付けたのは、昭和59年の第5期工事計画の発表でした。これは、当時の国鉄が新幹線や首都圏電車の需要増大に対処するための発電計画で、新たに宮中〜小千谷間に導水路トンネルを掘削し、小千谷第2発電所を建設、20万キロワットの発電を行うものでした。工事は平成2年に終了し、これにより宮中ダムでは、余剰水量から毎秒150トンがさらに取水され、下流に流される維持流量は7トンになりました。

## JR信濃川発電所の概要図

宮中ダムから取水された水は千手、小千谷、小千谷第2の3つの発電所で使われます。水のルートは2つあり、1つは浅河原調整池を経て千手発電所で発電に使われ、その後さらに小千谷の山本調整池に導水され小千谷発電所で発電に使われます。もう1つのルートは、宮中ダムから山本第2調整池に導水され、小千谷第2発電所で使われます。平成20年度では、JR東日本で使用する総電力量の5分の1を発電し、首都圏では総使用量の4分の1をまかなくなりました。





地域との共生について語る

JR東日本信濃川発電所改善事務所所長 佐坂 秀俊さん (57歳)

に総力を挙げて取り組んでいます。地元の食材やイベント、史跡などを活用して旅行商品の展開に努めました。継続して行うためにも、地域内の魅力をさらに高める取り組みを自治体とともに考えています。

また、水力発電と河川環境の調和を図っていくことも重要だと考えています。このため、今後5年間にわたり試験放流を実施し、調査・検証をしっかりと行っていきます。このほか、たとえば、水源かん養のため、この地域で植樹を行うことを検討しています。また、サケの稚魚の放流などの取り組みを引き続き行っていきます。

これらの取り組みを通じて、地域に根ざした良き企業でありたいと考えています。

信濃川の貴重な水を使わせてもらっていたにもかかわらず、河川環境の整備と保全の重要性に認識が薄く、河川環境の改善を求める皆様の声にしっかり向き合ってきませんでした。そのうえ、違法な取水を行っていました。これらのことを真摯に反省し、再びこのような不祥事を起こさせないよう再発防止に努め、地元地域の皆様の信頼回復に努めていきたいと考えています。

私たちは、地元地域と発電所の共生なしには、この地で発電を行うことはできないと考えています。共生の一つの例として、この地域の交流人口の増加

信濃川に関する市民討議会を企画

(社)十日町青年会議所理事長 高橋 豪さん (39歳)

(社)十日町青年会議所では、7月18日(日)におかまち市民討議会2010を開催しました。これは、無作為に選んだ1,500人の市民の中から、年齢や性別、職業に至るまでさまざまな25人に集まってもらい、「みんなで考えよう、信濃川の未来」をテーマに話し合ったものです。

話し合いでは、「信濃川の存在が生活から離れてしまい、行きづらくなった」「信濃川を含む周りの河川環境を残し、子どもたちや孫たちに伝えていきたい」など、さまざまな意見が出されました。心の中では信濃川に親しみを感じているけれど、どのように川に接したら良いかわからない、という人が多くいると感じました。大切な川ではあるが、信濃川への興味が薄れてしまうのではと。今までの河川環境の結果、近寄りづらい川になり、市民の皆さんがこのよ



うな思いを感じてしまったことは否めないと思います。

環境共生基金の活用方法についても話し合いましたが、子どもたちに信濃川や河川敷に親しみを持ってもらうためにも、サイクリングコースや散歩道など気軽に触れ合えるよう未来へ残してほしいと思います。

一番怖いのは、信濃川を考えることへの風化です。大切なのはこれからの信濃川の姿を考える5年間ではないでしょうか。これからも(社)十日町青年会議所として、信濃川の未来へ向け活動していきたいです。

これからの信濃川のあり方 JRとの共生に向けて

JR東日本の水利権許可とともに、河川環境と水利利用の調和の観点から、これからの信濃川があるべき姿の検証が始まりました。現在行われている試験放流の結果をしっかりと検証しながら、この流域における適正な河川環境を保持するための維持水量について検討していく必要があります。

このことは、市民とJR東日本が、信濃川の河川環境保全と水利利用の調和という視点から、両者が同じ目線に立ち、意識を持って共に考え、取り組んでいかなければならないものです。また、創設された環境共生基金を活用しながら、沿川の景観整備や親水公園などの整備を進め、信濃川への親水化につなげていきたいと考えています。市民、そして未来の子どもたちが、「日本一の信濃川」がこの地を流れていることを自慢し、そして誇りに思えるようにこれからも取り組んでいきます。

共生に向けて これからの信濃川を考える

◇これからの信濃川の姿を考える ◇市民やJR東日本の声

違法取水問題を発端とする、試験放流の実施

違法取水問題で21年3月10日に水利権を取り消されたJR東日本は、水利権の再取得に向けて市と交わした「試験放流に関する確認書」に基づき、水利権取得後の5年間にわたり、維持水量を季節に分けて毎秒40〜100トンの範囲で実施し、環境への影響を調査・検証しています。6月には宮中ダム魚道内にアユの稚魚を放流し、魚道の魚類のそのしやすさを調査しました。この調査は、来年度予定されている魚道の改築にも生かされます。



また、9月からは2か月間にわたり、サケのその調査が行われました。試験放流では、サケその上の維持流量を毎年変えて、その数などを調査・検証していきます。

信濃川イベント

市をはじめ、各種団体などが、河川環境の改善に向けた取り組みや信濃川に親しんでもらうイベントを開催しています。これらの活動は、信濃川の環境への理解を深めるこ



10月3日(日)に行われた水なしサミットでは、多くの人が河川敷に集まりました。

とに欠かせません。減水で日常から遠ざかってしまった信濃川。信濃川の現状に直接触れることで、信濃川を考えるきっかけを作ります。



河川敷では水辺の薬草が行われ、子どもたちが参加。昆虫や植物、水生生物、野鳥などの調査を行いました。



毎年春に行われるクリーン作戦では、河川敷のゴミを拾い、きれいな信濃川を保ちます。



ストリップ・ザ・アレチウリ作戦では、外来種のアレチウリを駆除し、河川敷の希少な動植物の環境を守ります。

# 第43回 十日町市美術展

問合せ  
中央公民館  
☎757-5011

10月16日(土)〜19日(火)の4日間、第43回十日町市美術展が市民体育館で開催されました。今年は8部門に271作品(日本画14、洋画47、版画9、現代美術7、彫刻12、工芸21、書道48、写真113)の応募があり、審査の結果、58作品が入賞に輝きました。入賞者は次のとおりです。(敬称略)

## 日本画

- 市展賞 「神獣」  
佐藤由雄 (小千谷市)  
奨励賞 近藤忠男 (小千谷市)  
佳作 瀬沼哲夫、横田ハル子



## 洋画

- 市展賞 「こたつと静物」  
清水好和 (津南町)  
奨励賞 田村紀代子 (下条本町)  
樋口房雄 (南魚沼市)  
根津一良 (尾崎)  
新潟日報美術振興賞  
丸山京子 (千歳町2)  
佳作 長谷川キセ、東 祐義、  
荒井克彦、大海由美、  
小林幸一



## 版画

- 市展賞 「係留」  
室橋浩一 (長岡市)  
奨励賞 小川 仁 (長岡市)  
新潟日報美術振興賞  
羽鳥吉夫 (浅ノ平)  
佳作 阿部松三



## 現代美術

- 奨励賞 根津しげ子 (十日町市)  
佳作 村山三智男



## 彫刻

- 市展賞 「習作 毘寿の祝ひの一休み」  
庭野雅弘 (田中町本通り)  
奨励賞 古川 憲 (長岡市)  
新潟日報美術振興賞  
小林 実 (城之古2)  
佳作 春日 徹

## 書道

- 市展賞 「七言絶句」  
大津幸一 (新座3)  
山口典子 (高山4)  
入田美佐子 (稲葉)  
桑原正明 (十日町市)



## 新潟日報美術振興賞

- 中澤まゆみ (田中町東)  
庭野美奈子、杉本千晴、  
上村ナホ、市村敬子、  
山岸玲子

## 写真

- 市展賞 「小春日和」  
邨山重信 (室野)



## 奨励賞

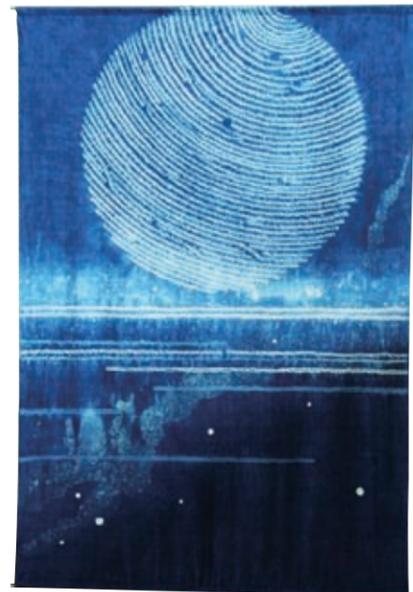
- 山内正胤 (学校町1)  
片山正一 (小千谷市)  
鈴木洋一 (松代)  
根津健一郎 (稲荷町3束)  
保坂敦子 (十日町市)  
田中博好 (十日町市)  
新潟日報美術振興賞  
仲 淳 (小千谷市)

## 佳作

- 福崎 均、清水孝子、  
尾身きく乃、田端静子、  
清水 正、石田 宏、  
高橋嵩一、斎藤馨爾、  
村山栄一、山本貴一、  
岡村義一、中林正一

## 工芸

- 市展賞 「悠久」  
徳永隆男 (本町7-2)  
奨励賞 柳 和夫 (高原田)  
佳作 五十嵐江美子、茂野正明



## 日展で市内出身者が3回目の入選!



第42回日本美術展覧会で、市内山本出身の桑原正明さん(36歳)が、第5科・書の部門で見事入選しました。

現在、東京学館新潟高校で国語・書道の教師を務めている桑原さんは、小学2年生から書道を習い、27歳のときに第33回日展で初入選。その後、第39回日展で入選し、今回で3回目の入選となりました。受賞にあたり、「喜びとともに、きちんとした作品を書かなければいけないという責任を感じました。今度は連続入選したい」と話しました。

なお、第42回日展は、12月5日(日)まで国立新美術館(東京都港区)で開催しています。



日展入選作品  
『李適詩』



講演会で初めてファッショングラデザイナーの三宅一生さんに出会いました。とにかくカッコよかったことを覚えています。彼のオフィ

### 三宅一生さんとの出会い

んですが、体験した僕は、もう雪なんか見るのもいやだという時代でした。

そんな時代に、なぜ洋服のデザイナーになるかと思つたのかとよく聞かれます。当時、実家は小さな温泉旅館をやつていて、一張羅を着たお客様の格好は普段見かけないものでした。それが珍しく、そういうお客様を見るのが好きでした。さらに、十日町高校在学中の1964年にビートルズが東京に来たんですね。ラジオばかり聴いていて、勉強のほうは悲惨なものでした。また、「平凡パンチ」という圧倒的影響力のあつた雑誌で、イラストレーターの大橋歩さんが描いた表紙の絵があまりにもファッショナブルでかっこよく、「ビートルズ」と「平凡パンチ」の影響でファクション以外の道は考えられないと思つていました。そして、先生のおかげでなんとか卒業でき、十日町を無事脱出することができました。

スガデザイナーを募集していて、受けに行きました。見事に落ちたのですが、その2、3日後に直接事務所から電話があつて、明日から来てくれということになりました。小さなオフィスですが、「こしかない」と思いました。

仕事はとても忙しく、おもしろかつたですね。自分の仕事を含め、もう35年くらいになります。ただ「好きなことがやりたい」というそれだけでここまで来てしまいました。

パリでショーをするようになって22年になりますが、これまで何とか継続できたのは、「やりたいか、やりたくないか、好きか、嫌いか」それだけだったような気がします。

ファクション・ウィークのパリの熱気と活気は大変なものがありますね。興味がなかつたらショーには行かないというお客様が僕の支えでした。

三宅さんが、なぜかこの変わり者をかわいがつてくれ、パリコレでのショーを勧めてくれました。あまり興味がないし、力もないので、お断りしたんですが、「とにかくやれ」という形で出されました。少数派の人たちが認めてくれ



小野塚 秋良さん

1950年松之山生まれ。杉野ドレスメーカー学院卒業。1974年三宅デザイン事務所に入社。1989年「ZUCCA(ズッカ)」発表。同時期にパリコレクションに参加。2004年フランスの産業発展への貢献によりプレタポルテ協会から「1er TROPHEE ELAN 2004」受賞

て、三宅さんも非常に喜んでくれました。それがスタートで22年続いています。大したものですよ(笑)。

**とにかく「やる気とアイデア」**

これだけ物があふれ、何を作つていいかわからない時代に、何をしたらいいのかと皆さんも痛切に感じていると思うのですが、リサイクルとかエコロジーとか、もう少しゆつたりと、時間をかけて作つたり、考えたりした方が良いのではないのでしょうか。

ファクションショーが終わると同時に全世界に情報が配信されるような時代ですから、IT革命の影響力は計り知れないものがあります。それによって、十日町という町が、新幹線からは少し距離はあるけれど、デメリットと感ずるところはないような気がします。むしろデメリットとしてとらえら

れる部分をピックアップしていくだけで、一つのコンセプトがあがるのではないかと感じます。

フランスは、田舎が素晴らしい。豊かなんですね。プロバンスやアルルなど、自然の豊かなところではぐくまれるものがあるのではないかと感じて感心しています。

ここでしかできないことは何だろうと考えるとき、デメリットやマイナス要素から多くのアイデアが生まれ、おもしろい発展をしていくと思えます。やる気があれば何とかうまくいくと思つてます。

僕の60歳までの時間の経過が語つていると思えます。「何もなかったって、やる気があつて好きだったら何とかなるんだ」という、そのサンプルが僕ですから。

やる気とアイデアがあれば、十日町がほかと違った方向で際立ったものになると確信しています。

# 2010 十日町産業フェスタが開催されました



十日町雪まつりキャラクター 小野塚さんデザインの「ネージュ」

10月23日(土)・24日(日)、キナーレ・クロス10をメイン会場に、「まるごと！体験！十日町！十日町産業フェスタ」が開催されました。地元の農産物や工業製品など、メイドinとおかまちが大集合。そのほか、小野塚秋良さんの講演会や食の見本市など、2日間で訪れた延べ約19、400人の皆さんは盛りだくさんのイベントを楽しんでいました。



「十日町市を有名にし隊：ごったく」が開発したご当地グルメ5品がついに披露目！お客様のアンケートで次世代の十日町特産グルメが決定します



十日町のおいしい「食」が並ぶ飲食ゾーンは、大勢の人でにぎわいました



「とおかまち食の見本市」では十日町の優れた食材を紹介。「とおかまちの食」を再発見しました



特設ステージでは、2日間にわたり音楽やダンスなどが繰り広げられました



産業フェスタの最後を飾った上棟式もちまき実演。女子レスリング日本代表選手も参加して、にぎやかに行われました



世界のファッションデザイナー 小野塚秋良さん講演会

松之山出身の「ZUCCA」ブランドで世界的に活躍しているファッションデザイナー・小野塚秋良さんを迎え、講演会が開催されました。その内容を紹介します。

### ファッションデザイナーになりたい

「ネージュくん」は、自分の顔を描いたつもりだったんですね。丸顔で手足が短くて、まさに僕なんです(笑)。

僕が生まれたのは1950(昭和25)年、50年代の松之山の状況は、豪雪という言葉が象徴するように、外界からの情報がほとんど閉ざされた世界でした。パリや外国でこの話をする、よく興味を持たれます。「コメのストロー(わら)で作ったコートを着て、ブーツを履いて、スキーで学校に通つた」って言うと、「ワアオ！なんてすてきな世界だ！」って言う

# 「新しい公共モデル事業」の パートナーを募集します



協働のまちづくり事業では、従来のモデル事業に加えて、「新しい公共モデル事業」を始めます。今回は、その事業を紹介するとともに、「いっしょにやりたい・楽しみたい!」という人や団体を募集します。

## 募集!! 市報とおかまち 市民リポーター

市報に写真や記事を投稿する「市報とおかまち市民リポーター」を募集します。

市報の人気コーナー「まちの話 題・トピックス」に、市内で開催される各種イベントや地域限定のユニークなイベントなどを取材して市報に掲載してみませんか。

「市報とおかまち市民リポーター」には、登録するだけでだれでもなることができます。写真の撮り方や記事の書き方などの講習を行いますので、未経験の人も大歓迎です。奮ってご応募ください。

## 募集!! 市政事務嘱託 団体

現在、高齢化などにより、市政事務嘱託員の業務が大きな負担になっていく集落が増えていますが、行政情報の伝達や検診の申込みなど、行政と住民の連携はなくてはなりません。そこで、高齢化率など一定の条件に該当する行政区が、その申出により、嘱託員業務を地域内の特定の団体に委託することができるとの制度に変更する検



討を進めています。そこで、まず嘱託員業務を担える団体を募集します。募集する団体は次のとおりです。

- ・ 定款などで地域自治または地域振興に関する項目のある法人 (NPO法人や株式会社など)
- ・ 規約を有する地区振興会や地区協議会 など

地域貢献を考えている団体の皆さん、ぜひご検討ください。

※該当する行政区の募集は、後日改めて行います

## 募集!! 公共空間クリーンアップ パートナー

企業やNPOの皆さん、社会貢献事業として、市内の公園や道路・花壇を利用してみませんか。

駅前の公園やシンボルロードなど、市民みんなの公園を掃除したり、花を植えたりする社会貢献事業です。市では、その取り組みを紹介する看板を設置したり、市報やホームページなどの広告・PR面でバックアップしていきます。社会貢献事業の対象となる公園や道路は募集要項(下表)のとおりです。



## 募集要項

事業名	公共空間クリーンアップ パートナー事業	市政事務嘱託団体事業	市報とおかまち 市民リポーター事業
活動内容	市民みんなの公園で掃除や花植えなど景観維持の管理	現行の市政事務嘱託員業務	市報に掲載する記事や写真の投稿
応募要件 ※いずれも十日 町市内に住所 を有する個人・ 団体	次のいずれかを満たす団体 ・ 法人格のある団体 (NPO法人や株式会社など) ・ 規約を有する地区振興会や地区協議会	次のいずれかを満たす団体 ・ 定款などで地域自治または地域振興に関する項目のある法人 (NPO法人や株式会社など) ・ 規約を有する地区振興会や地区協議会	デジタルカメラを保有している人
任期	平成23年4月から1年間	平成23年4月から1年間	平成23年1月から
応募期限	平成22年12月22日(水)	平成22年12月22日(水)	随時
その他	維持管理のお知らせや企業などの広告宣伝をする看板、花の苗代などは市が用意します。  【対象の公園】 ・ 十日町駅西口公園 ・ 十日町駅東口公園 ・ 西口までのシンボルロード ・ きもの広場 (クロス10前) ・ 遊歩道 (緑道) やその周辺の公園 ・ 高山太子堂線脇の歩道用地	法人の住所がある地域内の行政区で事業実施します。嘱託員の業務のみを行うものであり、集落や行政区の代表の業務まで担うものではありません。	応募者を対象に、写真の撮り方や記事の書き方などの講習を行いますので、どなたでも参加できます。なお、投稿したものの著作権は十日町市に帰属します。

### 申込み・問合せ

〒948-8501十日町市千歳町3-3 企画政策課協働推進係  
☎757-3693 F A X752-4635 Eメール: t-kikaku@city.tokamachi.lg.jp

# ～石川啄木 その生き方と文学の魅力～

今年石川啄木の処女歌集『一握の砂』が刊行されて100周年です。この講座では、啄木と縁の深かった人物との関係をとおして、その生き方や文学の魅力を学び、私たちが生きていくうえで文学が持つ意味を見出していきます。ぜひ、参加してください。

■会場＝情報館 ■対象＝18歳以上の市民

■学習日程・内容

回	日 時	テーマ	内 容
1	12月8日(水) 午後7時～9時	啄木と金田一京助・土岐哀果	少年時代から晩年までを親しく付き合った金田一京助の記憶と晩年の友、土岐哀果の記録をとおして、啄木の生涯を概観します。
2	12月22日(水) 午後7時～9時	啄木と宮崎郁雨・平出修	無類の人の良さと啄木の生活を支えた宮崎郁雨と思想家・啄木の誕生に力を貸した平出修とのかかわりについて学びます。
3	1月5日(水) 午後7時～9時	啄木と節子	啄木が「我ならぬ我」（もうひとりの私）と呼んだ妻・節子が、啄木の人生と文学に果たした多大な役割について考えます。
4	1月19日(水) 午後7時～9時	啄木と智恵子・小奴	啄木が函館時代に出会った橘智恵子と釧路の芸妓・小奴との交流について学び、啄木の女性観について考えます。
5	2月2日(水) 午後7時～9時	啄木と一禎・カツ	不遇の生涯に、啄木は何度も絶望しながらも必ず立ち上がりました。自らを信じる力となった幼少期の両親とのかかわりと影響について考えます。

- 受講料＝無料 ■定員＝先着30人
- 講師＝山下多恵子さん（市内在住。長岡高専非常勤講師。国際啄木学会理事。著書に『忘れな草 啄木の女性たち』、『啄木と郁雨 友の恋歌矢ぐるまの花』など）
- 申込み・問合せ＝12月1日(水)までに情報館 ☎750-5100

# 表彰

おめでとうございます

## 農林水産大臣表彰

2010年世界農林業センサス功績者として、3人が表彰されました。受賞おめでとうございます。



鈴木 照蔵さん  
(田中・72歳)

2度にわたる農林業センサスで、指導員として担当区域の調査員に適切な指導を行いました。調査員に信頼され、また指導員内でもリーダーシップを発揮して正確な審査に貢献しました。鈴木さんは、「表彰はとても励みになりました。大変なこともありましたが、今までやってきてよかったです」と話していました。



富井 良平さん  
(水沢第2・59歳)

通算4度農林業センサスに従事した功績が認められ、今回の表彰となりました。明るく気さくな人柄で調査世帯にも信頼され、調査票記入の丁寧な説明など、ほかの調査員の模範となりました。富井さんは、「いかにして信用されるか、そしてセンサスに対しての皆さんの理解を得ることが、正確な統計調査への道です」と話しました。



村山 貞義さん  
(上川手・76歳)

昭和55年の世界農林業センサス以来、7度にわたり農林業センサス調査に従事し、正確な統計調査の実施に貢献しました。調査内容を丁寧な説明する誠実な人柄は、調査世帯にも信頼されています。村山さんは、「表彰は思いもよりませんでした。調査員のやりがいは、いろんな人と出会って話ができることです」と話しました。

## 原付バイクなどのご当地ナンバープレートのワンポイントデザインを募集します

十日町市の魅力を発信する広告宣伝ツールとして、原付バイクなどのナンバープレートを地域特有のキャラクターやデザインを加工貼付したものに变更する予定です。

ナンバープレートに加工するワンポイントキャラクターやデザインを、既存デザイン・新作デザイン問わず募集します。

○募集内容：原付バイクなどのナンバープレートに施す『キャラクター・デザイン』



### ○デザイン規格

十日町市らしさを表現した縦6cm×横4cmの枠内に収まるサイズのデザイン

※既存デザイン、新作デザインを問いません。ただし、既存デザインの場合は、十日町市が使用可能な著作物に限ります

○提出方法：税務課に持参・郵送・電子メールのいずれかで応募してください。既存デザ

インの場合は、任意の用紙にキャラクター名またはデザイン（例：ネージュ・ほのおまる・火焰型土器・市章など）を書いてください。新作デザインの場合は、任意の用紙に規格内の大きさのデザインを描いてください。

※余白に住所、氏名、年齢、電話番号、キャラクターを選んだ理由を書き添えてください

○締切り：12月3日(金) (必着)

○その他

- ・応募者の中から抽選で記念品を贈呈します。
- ・12月上旬に結果を発表する予定です。
- ・新作デザインが採用された場合は、作品に関する一切の権利は十日町市に帰属します。
- ・応募作品は返却しませんのでご了承ください。
- ・標識として使用するにあたり、採用作品を修正する場合があります。

○問合せ：税務課家屋資産税係 ☎757-3728  
〒948-8501十日町市千歳町3-3、電子メール：t-zeimu@city.tokamachi.lg.jp

## 十日町市総合防災訓練・災害時医療訓練を実施しました



市総合防災訓練では、消防救助隊による救助訓練を行い、自主防災会との連携による搬送訓練を行いました



災害時には、患者を重症度と緊急度に応じて分別し（トリアージ）、治療の優先順位を決定します

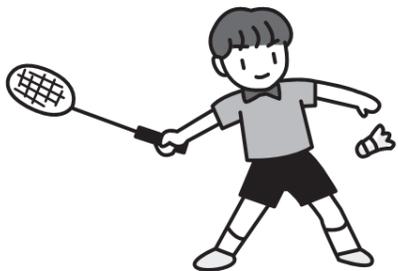
県内で最大震度7を記録した中越大地震から6年が経過しました。市内では千歳町で震度6強を観測し、9人が死亡、14、958件の住家被害をもたらしました。この震災の教訓を風化させず、いつその防災意識の高揚を図るため、10月24日(日)、松之山グラウンド駐車場で「市総合防災訓練」を行いました。

訓練には延べ350人が参加。震災犠牲者のめい福を祈り黙とうを行った後、市内で震度6強の地震が発生したという想定で訓練を行いました。

開始しました。訓練では、避難訓練のほか初期消火訓練や倒壊家屋救助訓練などを行い、緊迫した状況の中、本番さながらの訓練が行われました。

23日(土)には、消防と病院が連携した「災害時医療訓練」も実施されました。訓練では災害で多数の傷病者が発生したと想定し、関係機関と連携を取りながら、傷病者のトリアージや災害派遣医療チームによる病院後方支援訓練などが行われました。

大会名	種別	1位	大会名	種別	1位
秋季市民バドミントン大会	シングルス	男子 A 中山雄介 (川西)	空手道競技会	幼児・小学校1・2年生形 井口尚也 (水沢小)	
		男子 B 太田佳佑 (ウイング)		小学校3・4年生形 柳泰生 (中条小)	
		女子 笠原裕子 (十日町)		小学校5・6年生形 矢野智夏子 (下条小)	
	ダブルス	男子 A 生越淳・村山佳久 (川西)		中学生形 村山夏穂 (津南中等)	
		男子 B 水落良孝・大口修一 (ウイング)		小学1・2年生組手 宮崎来	
女子 網紀子・細井貴子 (UNITY)	小学3・4年生組手 柳泰生 (中条小)				
剣道競技大会	小学校低学年 樋口遼太 (十日町剣友会)	小学5・6年生組手 山崎健生 (水沢小)	市民ハイキング 行き先 清水峠 (南魚沼市) 参加者 17人		
	小学校高学年 春日壮雅 (松代剣道連盟)	市長杯争奪ゲートボール大会 蒲生	第15回川西ソフトバレーボール大会 みっちゃんず		
	中学校男子 水落逸流 (十日町剣友会)	第25回中里健康ウォーク兼第14回ミオンウォーク 行き先 なかさと地域内約14kmコース 参加者 60人	第20回24時間耐久リレーマラソン 激走会		
	中学校女子 桑原美咲 (南中)	第16回まつのやま湯鳥駅伝大会	小学生 浦田小学校チーム (浦田小)		
	一般・高校 根津勝 (十日町剣友会)	中学生 紙刀侍 (松之山中)	高校・一般 松中クロカン部OB		
		湯 鳥 三省の風			



# 第6回 市民スポーツ大会結果

10月11日(体育の日)を中心に、第6回市民スポーツ大会が開催され、大勢の参加者がさわやかな汗を流しました。各競技の優勝選手・チームを紹介します。(敬称略)

大会名	種別	1位	大会名	種別	1位
2010十日町RUN・ランリレーカーニバル	ちびっこラン	小学低学年男 山田駿平 (城ヶ丘XC)	少年野球大会	小学校5年生 中条シャークス	
		小学低学年女 林春季 (十日町小学校)	小学校6年生 東小若葉		
		小学高学年男 池田淳之介 (城ヶ丘XC)	400歳野球大会	オールディーズ	
		小学高学年女 島田もも (城ヶ丘XC)	相撲競技大会	団体 東小学校	
	リ4x100m	ファミリー 2位ねらい (太島綾志、尾身亮平、村山寿、尾身拓馬)		小学校1年 相崎庸介 (吉田小)	
		一般 チームハローキティ!! (志田真行、渡貴多聞、樋熊啓志、村山大貴)		小学校2年 佐藤豪 (吉田小)	
		ファミリー 下条JXC-A (水落智哉、水落稔、小嶋優莉、小杉洋宏)		小学校3年 滝澤航大 (十日町小)	
	リクロスリレー	ファミリー 城ヶ丘XC (尾身大地、大島悠介、宮園健吾、吉田三男)		小学校4年 西川匠 (東小)	
		一般	小学校5年 藤ノ木颯 (東小)		
	フットサル大会	和	第39回郡市柔道大会	小学1・2年生 高橋優輝 (千手小)	
テニス大会シングルス	一般男子 A 丸山滋 (下条体協)	小学3・4年生 小野塚賢人 (津南小)			
	一般男子 B 小川拓海	小学5・6年生 高野正隆 (馬場小)			
	一般女子 A 阿部澄 (YYTC)	中学1年生 数藤亜季 (川西中)			
パパママバレーボール大会	深雪会	中学2・3年生 蕪木恵太 (十日町中)			
第46回市民体操競技大会	小学生 A 池田杏成 (川治小)	一般・高校 軽量 桑原光希 (津南柔道会)			
	小学生 B 高野真佑 (馬場小)	一般・高校 重量 古沢一幾 (帝京長岡高)			
宮沢杯・小山杯争奪バスケットボール競技会	一般男子 セルフィッシュ	ソフトボール大会	水沢スターズ		
ソフトテニス大会	シニア GGS	第26回ジュニアバドミントン大会	シングルス	小学3・4年生男子 岩田圭 (十日町バドミントン少年団)	
	男子 A 渡辺茂・春川俊弥 (リバーウエスト)			小学3・4年生女子 根津美里 (T・J・B・C)	
	女子 A 野上悦子・味原愛美 (アディー・東北福祉大)			小学5・6年生男子 澤潟士以 (十日町バドミントン少年団)	
市民スポーツの日卓球大会	婦人 湯澤文子・岡田秋子 (LTC)		小学5・6年生女子 富澤歩美 (T・J・B・C)		
	中1男子 樋熊健太 (南中)		中学生男子 目黒良真 (十日町バドミントン少年団)		
	中1女子 山田奈緒 (十日町中)	中学生女子 中田舞紗 (T・J・B・C)			
	中2男子 野沢一貴 (川西中)	ダブルス	小学生男子 澤潟士以・岩田圭 (十日町バドミントン少年団)		
	中2女子 柳紗知 (川西中)		小学生女子 富澤歩美・桑原比菜乃 (T・J・B・C)		
一般男子 富井和輝 (川西高)	中学生男子 目黒良真・春日智昭 (十日町バドミントン少年団)				
一般女子 相崎幸子 (下条クラブ)	中学生女子 春日歩美・高橋璃奈 (十日町バドミントン少年団)				

## 小中一貫教育講演会を開催します

教育委員会では、「小中一貫教育基本計画」を策定しました。この「小中一貫教育」を広く市民の皆さんに理解してもらうため、他市で小中一貫教育を実践している教師を招き、講演会を開催します。

小中一貫教育は、子どもの豊かな「学び」と「育ち」の実現を目指して実施するものです。平成23年度から市内4モデル中学校区(候補:下条中、川西中、中里中、松代中)を指定し試行事業をスタートさせ、平成26年度から全中学校区で実施の予定です。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

- ◇日時: 11月30日(火) 午後7時~9時
- ◇会場: 市民会館
- ◇テーマ: 「義務教育9年間を見通した小中一貫教育」(仮題)
- ◇講師: 二宮肇美さん (広島県呉市警固屋中学校教諭)
- ◇問合せ: 学校教育課 ☎757-3336

## 子育て支援センター「くるる」利用時間変更のお知らせ

子育て支援センター「くるる」では、12月2日(木)より下記のとおり、開館時間と家庭相談員相談時間を変更します。

- ◇開館時間: 午前9時~午後0時30分、午後1時30分~5時 (変更前は午前9時~午後5時)
- ※休館日は変更ありません(毎週水曜日、祝日、年末年始)
- ◇家庭相談員による相談日 毎月第4火曜日午前10時~午後3時 (変更前は毎週火曜日午前10時~午後3時)
- ※保健師・栄養士による育児相談日は変更ありません(毎月第2木曜日午前10時~11時30分)
- ※時間以外でもくるるの指導員が相談に応じるほか、保健師・栄養士などへ連絡し対応します
- ◇問合せ 子育て支援課保育関係 ☎757-9169

地産地消 新鮮 おいしい 農家のみなさんが丹精込めてつくっています。

# 十日町産を食べよう!

No.3 やわ肌ねぎ 抜群に甘くて、やわらかいねぎ 新潟県の代表的な園芸品として県内各地で栽培されています



やわ肌ねぎは、新潟県で栽培されるねぎのブランドですが、市内では標高300～400mの、県内でも最も標高の高いねぎ畑で栽培されています。そのため、夏も高温にさらされずに生育でき、高品質なねぎが生産されます。

砂地ではないため、栽培や収穫は大変ですが、昼夜の気温差でおいしいねぎができます。

有機質肥料を使い、低農薬で栽培されたねぎは、白い部分が長くつややかで、抜群の甘さとやわらかさです。

〔収穫時期〕 9月～11月

〔おいしい食べ方〕

焼きねぎ、なべもの、炒めもの、薬味として

●問合せ 農林課農業企画係 ☎757-3120

地元で作られたものを 地元で食べる。

その営みを拡大するために、十日町で作られている農産物などを紹介していきます。

# 水道事業のお知らせ

平成21年度水道事業決算と平成22年度上半期の業務状況をお知らせします。

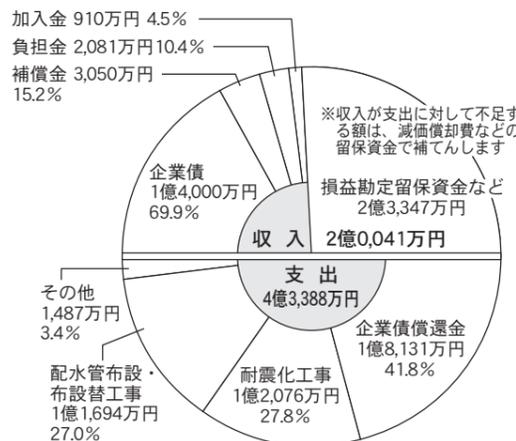
■問合せ=上下水道局事務係 ☎757-3115 (内線93)

(業務量)

1. 給水栓数 ……………12,248栓
2. 年間総給水量……………3,636,347m<sup>3</sup>
3. 一日平均給水量……………9,963m<sup>3</sup>
4. 主な建設改良事業
  - ・配水管布設及び布設替工事 ……29件

## 資本的収入及び支出

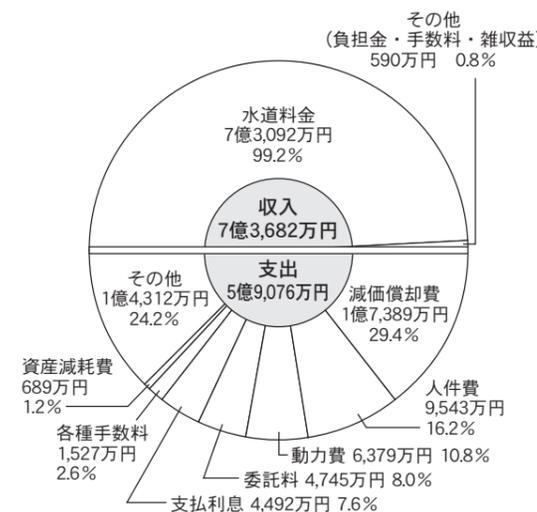
(税込)



## 21年度決算

### 収益的収入及び支出

(税抜)



## 22年度上半期の業務状況

### 給水業務量の状況

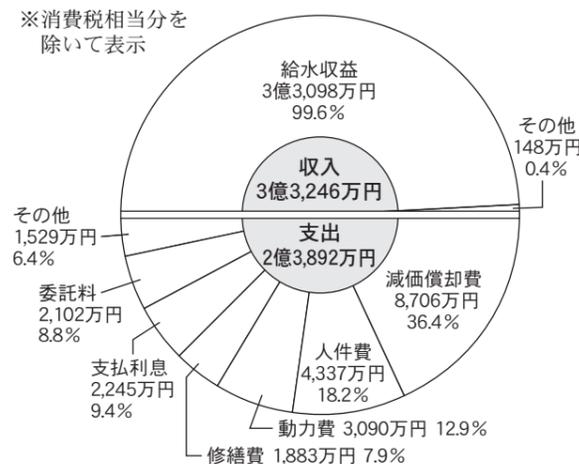
平成22年4月1日～9月30日

区分	22年度 上半期	21年度 上半期	比較		
			増減	比率(%)	
給水栓数(栓)	12,242	12,218	24	0.20	
給水量	総量(m <sup>3</sup> )	1,649,522	1,842,491	△192,969	△10.47
	一日平均(m <sup>3</sup> )	9,014	10,068	△1,054	△10.47

※給水栓数は調定件数(平均)です  
※給水量は、調定水量です

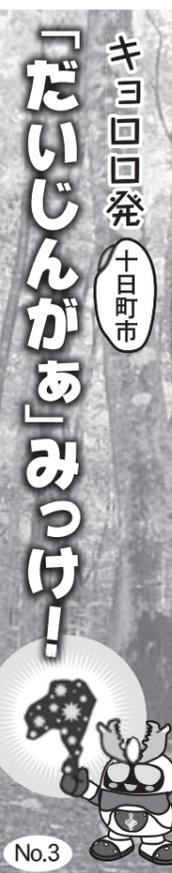
### 損益計算書

平成22年4月1日～9月30日



十日町市の木が「ブナ」ということをご存知でしょうか。十日町市のブナ林は、日本、いや世界に向けて自慢できるスゴイところがたくさんある、十日町市の「だいいんがあ」です！

松之山地域にある日本三大ブナ林「美人林」は十日町市を代表する美しいブナ林の一つ。年間の来訪者数は、世界遺産で有名な白神山地のブナ林のなんと約二倍以上の10万人に上り、重要な観光資源の一つとなっています。また、学術的にも興味深いものがたくさんあります。その一つが、十日町地域では大変低い標高にあることです。ほぼ同緯度の関東地方では、約1,000mより上部に出現するのに対して、十日町市では約200m前後に出現しています。これには、十日町市が日本有数の豪雪地であること、ブナが雪に強く、豪雪地でも生育できることが関係しています。また最近、名古屋で開催された生物多様性条約会議COP10で、日本の「里山」が



No.3



■問合せ キョロロ

☎595-8311

人間と自然の共生の手法として世界に向け発信されました。十日町市では集落の近くにブナ林があり、古くから「里山のブナ林」として人々が利用し維持してきました。民家の近くにブナ林があることは、ほかの地域と比べると実はとても珍しいことなんです。

現在、市民の皆さんと協働で、「だいいんがあ」ブナ林マップを作成中です。おすすめのブナ林がありましたら、10月10日号市報と一っしょに各家庭に配布した調査シートを使用し、キョロロまで教えてください。



やったー! 9点!!

10月17日(日)、中里総合センターで中里こどもまつりが開催されました。今年、商工会創立50周年を記念したイベント「中里商工まつり」と同時開催。会場は大いにぎわいました。子どもたちは飛行機作りやバルーンアートなどの遊びに夢中。輪投げでは点数を競いました。また、今年の6月に地球に帰還した小惑星探査機「はやぶ

こどもまつり  
商工まつりで大にぎわい

# ながや通信

中里支所  
☎763-3111



レバーでアームを動かしてみよう!

さ」のDVD上映などもあり、親子で宇宙の魅力に触れました。一方、商工まつりでは地域内のお店の皆さんが出店して自社をPR。飲食店の皆さんの料理や、特別価格の商品に人気が集まりました。中でも、子どもを対象にしたミニバックホーの試乗体験は大人気。乗り物好きな子どもたちがレバーを握って目を輝かせていました。ファイナーレには願い事や手紙をつけた風船レターを青空へ飛ばし、返事が来ることを願って風船に手を振っていました。

## 清津川ディスクゴルフ大会開催

「惜しい、ナイストライ!」。10月23日(土)・24日(日)、清津川フレッシュパークで行われたディスクゴルフ大会の一幕。果敢にゴールに挑んだ出場者へ同じグループの出場者から掛けられた声です。ディスクゴルフはフライングディスクを用い、ゴルフのように決められたゴールに向かって、より少ない投数でゴールを目指す競技。今大会には県内外から延べ70人が参加しました。同大会は、清津川フレッシュパークのコースが日本ディスクゴルフ協会の公認コースに認められたことを記念し開催。神奈川県から出場した渡辺聡美さんは、「木もアップダウンも少なく、プレイしやすい良いコースですね」と話していました。



初心者・子ども向けのチャレンジ・ディスクゴルフも開催しました

国道353号線沿いから少し入ったところにある清津川揚水機場。清津川の水を高低差164mもの上段の田にポンプで上げる大規模施設です。揚水機場の完成は昭和43年。昭和48年から本格稼働しました。施設の中には大きなポンプが2台あり、交互に揚水を行っています。この施設で上げる水は毎秒600ℓ。市之越から上山、七川を潜って豊里、如来寺など、中里地域220haもの田んぼを潤す、米作りに欠かせない施設です。「春に田んぼが始まると、昼夜・土日もなく水の管理を行っています」と話すのは、同施設の管理を担う村山勤さん。ポンプは一足早い冬休みに入り、春にはまた豊かな流れをもたらしてくれるでしょう。



とる中里  
たから探し

程島編

10月10日(日)、まつだいふるさと会館駐車場をメイン会場に「ほくほく線元気まつりinまつだい」が開催され、約6,300人が詰めかけました。ほくほく線発祥の地である松代で、沿線住民のよさこいと特産品のそばで元気をつなげていこうとスタートしたこのイベント。よさこいには、市内のほか沿線の上越市や南魚沼市などから総勢21チーム約500人が参加し、メイン会場の芝生ステージと

## YOSAKOI&SOBA FESTIVAL'10 第6回ほくほく線元気まつり inまつだい



松代商店街通りのパレード会場で見事なよさこい演舞を披露しました。芝生ステージの後ろには芸術作品もあり、ときおり通過するほくほく線やほくほく線一層まつりを盛り上げました。また、メイン会場では市内のそば屋7店の屋台が立ち並び、お昼時には各店のこだわりのそばに行列ができていました。実行委員長の品田靖さん(52歳)は、「雨が一番の気がかりでした。スタッフ一同、試行錯誤を続けながら、次回に向けて頑張ります」と話しました。

# まつだい ステーション

松代支所  
☎597-2220

## 秋の味覚を収穫!

春に植えたサツマイモの苗が収穫の時期を迎え、10月12日(火)に松代保育園の園児総出でイモ掘りをしました。保育園の近くの畑を貸してもらい、苗植えから水やり、草取りなどを頑張っ、ついにやってきた収穫の日。手で土を掘り、自分の顔ほどに大きく実ったサツマイモを見付けると、あちこちで歓声が上がりました。園児たちは、「楽しかった!」「焼きいもにして食べたい!」と笑顔で話していました。収穫したサツマイモは後日、おやつとしてみんなでおいしく食べました。



## 松代の自然

ハンカイソウ

梅雨の終わり、セミの音が連続的に聞こえてくるようになるころ、巨大な葉を広げ茎も太く荒々しい姿の先端に、黄色い菊状の花を咲かせるものがあります。キク科の多年草、ハンカイソウです。ハンカイソウという名は、花が「半開」だからでも、正体が「半解」だからでもありません。中国・漢の時代の高祖「劉邦」の家臣で、豪傑な武将である「樊



ハンカイソウ

資料には見当たりません。樊噲草達しく伸び梅雨に入る(文と絵 高橋八十八)

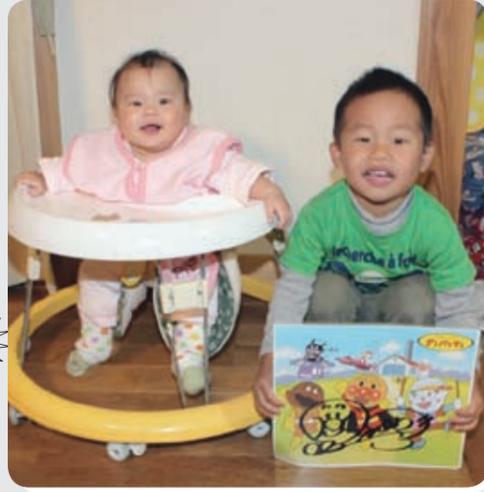
「にちなん」で「樊噲草」と名付けられたようです。松代の故市川寅太郎さんから株分けしてもらったから何十年も経つのに、増えも減りもせず現状維持のまま毎年咲いています。咲き終わった後は、いつの間にか枯れ、翌年までの眠りに入ってしまう。市川さんは清水のとある家からもらったそうですが、その家では馬の腹痛に効く妙薬として植栽していたそうです。しかし、効くかどうかは薬草関係の



**小野塚 侑多ちゃん** おのづか うたちゃん  
平成20年2月28日生まれ  
みのり団地 (写真左)

歌が好きでとっても上手なうたちゃんは、ひよりお姉ちゃんが大好き！追いかけて遊んで仲良く遊びます。夏には家族みんなでディズニーランドへ行って、ミッキーに会ってきました。

あ  
い  
ど  
ろ  
キ  
ャ  
ラ  
イ  
ド  
ル



**草村 凛太郎ちゃん** そうむら りんたろうちゃん  
平成19年11月22日生まれ  
室野 (写真右)

アンパンマンが大好きなりんたろうちゃん。産業フェスタのショーでは、アンパンマンと握手をして、サインももらいました。妹のなおちゃんが泣いていると、自分のおもちゃを貸してあやしてくれる優しいお兄ちゃんです。

65

# ときめき ネットワーク

## 安全第一、全力投球

入社3年目で、水道の配管の仕事をしています。高校のとき、将来は測量をやりたいと思い、専門学校で都市環境建設科で土木や測量、配管などを学びました。これを生かせる仕事に就くことができ、日々やりがいを感じています。

生活になくってはならない水道を止めて作業をするため、できるだけ断水時間を短縮できるように、段取りをしっかりとやるよう心がけています。配管が終わり、水流を本管に切り替えるときが大切なので、うまく水が流れるよう気を使います。仕事の目標は、やはり安全第一ですね。

中学・高校と野球部で、現在も社会人チームでプレイしています。ポジションはファーストで、打順は4番です。これからも、仕事に、野球に頑張りたいと思います。



**大津 竜一さん**  
1987年生  
株拓越勤務

先月の矢口文代さんからのバトンタッチ。

今年度のインフルエンザの流行は、例年より早いといわれています。10月末には市内小学校で、県内第1号となったインフルエンザA型の集団発生がありました。今後も流行が予想されますので、感染予防に十分な注意をお願いします。

**予防のための生活術**

新型でも季節性でも、予防対策が最も大切です。

【予防の基本は手洗い・うがい】  
○手は石けんで15秒以上洗い、流水でよくすすぎます。細菌が4分の1〜10分の1に減ります。帰宅時・食事前

は念入りに洗いまししょう。  
○うがいは1日数回、特に帰宅時は忘れずに行いましょう。細菌が4分の1に減ります。

【十分な栄養と休養で抵抗力をつけましょう】  
○水分は、水やお茶などを大人1日コップ7、8杯が目安です。

○主食と主菜・副菜がそろったバランスの良い食事を心がけましょう。野菜たっぷりの鍋料理は体も温まりお勧めです。

○睡眠時間は6〜8時間が目安です。

【外出時の注意点】

○可能な限り患者と別の部屋で過ごし、こまめに換気をお願いします。

○患者が注意すること  
【患者が注意すること】  
○患者の容態の変化に注意し、悪化した場合はすぐに主治医に相談しましょう。

○患者と接するときはマスクを着用し、こまめに手洗いをしましょう。

○家族が注意すること  
【家族が注意すること】  
○患者の容態の変化に注意し、悪化した場合はすぐに主治医に相談しましょう。

## インフルエンザにご注意を！



問合せ 健康支援課母子保健係  
TEL757-9759

# とおかまち観光ドット混む情報

観光交流課 ☎757-3100

## 雪国観光圏 「スノーカントリーパス」

3県7市町村からなる雪国観光圏では、博物館、美術館、立ち寄り温泉などの全50施設を2日間自由に回ることのできる、お得な「スノーカントリーパス」を販売しています。

- 期間 12月31日(金)までの連続する2日間
- 料金 2,000円
- 販売所 十日町市観光協会、十日町駅西口案内所、まつだい駅観光案内所、松之山温泉里山ビジターセンターなど
- 問合せ 雪国観光圏事務局（湯沢町産業観光課内☎025-785-5222）

## 「おもてなしの心の大切さについて学ぶ」講演会

十日町市観光協会では、市民によるおもてなしで温もりのあるまちづくりや地域の魅力向上を図るため、特別講演会を開催します。

- 日時 11月19日(金) 午後3時～4時  
(受付開始 午後2時30分)
- 会場 クロス10 2階中ホール
- テーマ 「笑顔で気働き」
- 講師 楠 峰子（くすのき みねこ）さん  
(加賀屋サービスアカデミー所長)
- 申込み・問合せ 十日町市観光協会 ☎757-3345



# GUIDE 募集

## 公営住宅入居者募集

●募集期間 11月12日(金)～25日(木)※申込み条件の詳細は問い合わせください●申込み・問合せ 都市計画課建築住宅係 ☎757-9935

地域	物件	間取り	家賃(月)	募集戸数
十日町	谷内丑住宅(世帯用)	昭和59年度・平成元年度建築 鉄筋コンクリート3階建	6帖2室、4.5帖1室、DK 16,800円～26,800円	3戸
	善宗塚住宅(世帯用)	昭和52年度建築 簡易造3階建	6帖1室、4.5帖2室、DK 12,000円～17,900円	1戸
松代	ハイツちとせ(世帯用)	平成14年度建築 木造高床3階建	8帖1室、6帖1室、LDK 50,000円	1戸
	湯山団地(世帯用)	平成10年度建築 木造高床3階建	8帖1室、6帖2室、DK 50,000円	1戸
松之山	湯山団地(世帯用)	平成10年度建築 木造高床3階建	8帖1室、6帖2室、DK 50,000円	1戸
	松之山第2住宅(世帯用)	平成8年度建築 木造高床3階建	6帖2室、4.5帖1室、DK 38,000円	1戸

## 県立魚沼テクノスクール 受講生募集

○Aビジネス科の1月入校

## 十日町病院耳鼻咽喉科 臨時休診のお知らせ

11月19日(金)・22日(月)は耳鼻咽喉科が休診となります。ご理解とご協力をお願いします。●問合せ 十日町病院経営課 ☎757-5566

## 所得税の青色申告決算書 作成方法説明会

次のおり説明会を開催します。都合の良い会場に参加してください。●営業所得関係 ●日時・会場 11月26日(金)午後1時30分～松代総合センター 12月3日(金)午前10時～午後1時30分 中央公民館【農業所得関係】 ●日時・会場 11月26日(金)午後10時～午後4時

## 寄付ありがとう

- 10月25日届出分まで(敬称略)
- とおかまち応援寄附金へ＝澤野利弘(上原新町) 池田春夫(田川町3) 佐野比呂史(稲荷町3東) 滋野大介(野口) 保坂友成(南鏡坂) 樋口正文(神明町) 瀧澤哲雄(四日町4) 小林房子(本町4) 和久井工(本町7-1)
- 十日町市(児童福祉費)へ＝大津操(下平新田・30,000円)
- 情報館へ＝金澤ノブ(太田島2) 丸山浩(稲葉) 武田正史(土市1) 村山博志(土市4) 樺澤淳子(長岡市) 十日町軽スポーツクラブ

生を募集します。●受講期間 23年1月6日(木)～3月30日(水)の平日午前9時～午後4時 ●会場 魚沼地域職業訓練センター(南魚沼市) ●受講料 無料※テキスト代など自己負担あり ●申込み 12月2日(木)までにハローワーク十日町 ●問合せ 県立魚沼テクノスクール ☎025-794-2410

## 【独雇用・能力開発機構】 受講生募集

23年1月入所の訓練生(6か月間)を募集しています。詳しくは問い合わせください。●募集期間 12月6日(月)～12月13日(月) ●選考日 12月13日(月) ●科目 テクニカルオペレーション科、生産技術科、金属加工科、電気設備科、ビル管理科、住宅リフォーム技術科、機械加工技術科 ●定員 各18人 ●問合せ 独雇用・能力開発機構新潟センター ☎0258-33-2433

## GUIDE その他

午前10時～松代総合センター 12月2日(木)午前10時～午後1時30分 ●参加費 無料 ●問合せ 十日町税務署 ☎752-3181

## 千手温泉千年の湯 臨時休館のお知らせ

設備点検のため、11月25日(木)・26日(金)は休館となります。ご理解とご協力をお願いします。●問合せ 千手温泉千年の湯 ☎768-2988

## 一日金融公庫相談会

年末決済資金や賞与等運転資金、設備資金の相談を受け付けます。●日時 11月16日(火)午前10時30分～午後4時

## 停電により情報館の証明書発行が停止します

高圧自家用受電設備定期点検のため、市役所本庁及び十日町保健センターが停電します。この停電により、情報館の証明発行窓口が停止となりますのでご了承ください。●日時 11月21日(日)正午から終日 ●問合せ 市民生活課市民年金係 ☎757-3116

## 【地デジ対応支援】 追加のお知らせ

市報9月25日号『地デジ簡易チューナー』給付支援を継続します。『の支援対象世帯の説明の中に、「※既に地上デジタル放送を視聴している世帯は対象外です」とありましたが、難視聴などで共同受信施設により地上デジタル放送を視聴している世帯は、共同受信施設の改修工事費の個人負担分が対象となる場合があります(既に給付支援を受けている人を除く)。●支援の対象となる人 NHK受信料が全額免除されている人で、デジタル放送受信のために集落

## 女性の人権ホットライン

11月15日(月)～21日(日)は「女性の人権ホットライン」強化週間です。期間中、法務局職員や人権擁護委員が差別やDV、セクハラなど女性の人権に関する電話相談を受け付けます。●日時 11月15日(月)～19日(金)午前8時30分～午後7時、20日(土)・21日(日)午前10時～午後5時 ●相談 女性の

## 新潟大学法律相談部 無料法律相談会

【事前電話受付】相談会の事前受付です。相談に直接答えることはできません。●日時 11月26日(金)～28日(日)午前10時～午後7時(26日は午後1時～) ●相談会(要予約) ●日時 12月12日(日)午前10時～午後5時 ●会場 新潟大学五十嵐キャンパス法文棟(新潟市) ●申込み・問合せ 新潟大学法律相談部 ☎025-262-9732

## 父子家庭にも児童扶養手当が支給されます

ひとり親家庭の自立を支援するため、8月1日から父子家庭の父親にも児童扶養手当が支給されるようになりました。7月末までに支給要件に該当している人で、8月分からの手当を受給するには、11月30日(火)までに申請が必要です。11月30日を過ぎてから申請した場合、申請の翌月分からの支給となりますのでご注意ください。 ※支給要件や手当額など詳細は、市報7月25日号に掲載しています ●手続きに必要なもの：印鑑、戸籍謄本 ●申請・問合せ 子育て支援課子育て支援係 ☎757-3719

## 売上アップ接客セミナー

多くの企業で研修を行う講師から、即実践に生かせる接客技術を学びます。 ●テーマ・日時 第1回「購買スタイルとアプローチ」 11月24日(水)午後1時30分～3時30分 第2回「楽しい会話と情報のキャッチ」 12月15日(水)1時30分～3時30分 第3回「気持ちの良いことばづかい」 1月19日(水)1時30分～3時30分 ●会場：十日町商工会議所 ●参加費：無料 ●講師：阿部真代さん(Trainingウィズユーインストラクター) ●申込み・問合せ：11月17日(木)までに十日町専門店会事務局 ☎752-2738

## エコノミークラス症候群 検診を行います

中越地震から6年目のフォローアップ検診です。ごなくても受診できます。●日時 11月28日(日)午前10時～午後4時 ●会場 クロス10 ●受診料 無料 ●問合せ エコノミークラス症候群予防・検診支援会事務局 ☎0258-82-5801

## 十日町地区合同就職面接会・介護就職面接会

●日時 11月17日(水)午後1時～4時 ●会場 クロス10 ●問合せ ハローワーク十日町

## おはようお

▼今年は国民読書年。また、10月27日～11月9日は読書週間でした。情報館でも同館や本に親しむイベント「情報館まるごと体感フェア」を今年初めて開催しました。読書に親しもうという雰囲気が出されている中、新聞に「1か月本読まず：52%」という記事が。本を読む時間がなかったというのが一番の理由でした。タレントのビートたけさんは、勉強のため、好きな本とベストセラー本、そして絶対に自分には読まないであろう本を読むようにしているそうです。好きな分野を深めることと世間の流行、そして未知の分野への造りかけを広げるためとのこと。(石)もまねてベストセラー「1Q84」に挑戦しています。



(石)

▼クロアチアピッチで「ジャパン・クロアチアフレンドシップハウス」の建設が始まりました。建築デザイナーは、クロアチアが誇る世界的建築家お二人の寄贈です。初めて十日町を訪れたのが昨年5月。移動の車窓から外の建物を見て、その建築様式から一目で「築何年」を言い当てていたのには驚きました。道中美しく咲いていた山桜はクロアチアで咲く桜と同じだそう。クロアチアの伝統家は日本のかやぶき屋根の家とそっくり。ピッチ付近に咲くアイリスはクロアチアの花で、珠川名産のアスパラは自宅近くに自生しているそうです。偶然以上の縁を感じますね。



(ひ)



やぎたろうと  
遊んでいるみんな



**小林 綾**さん（1年）  
 10月まで学校で飼っていたやぎたろうと、中庭で遊んでいるところです。友だちといっしょにえさをあげています。やぎたろうと遊ぶのは楽しかったです。



たのしい花見



**山口 祥佳**さん（2年）  
 家族でお花見に行ったところです。桜がとてもきれいですごかったので、それを思い出しながら描きました。またお花見に行きたいです。



# ジュニア芸術祭

65

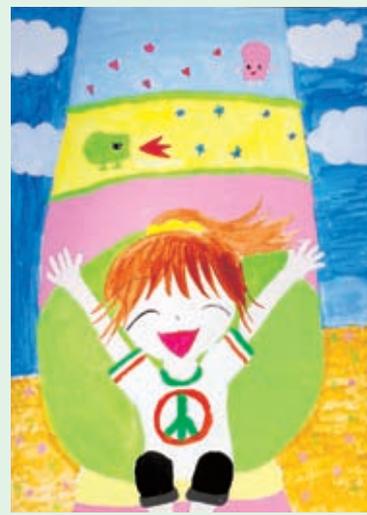
下条小学校



地球はきれいだなあ



**長谷川 悠一郎**さん（3年）  
 宇宙へ行って地球を見てみたいです。きっと、地球は丸くて光っていると思います。宇宙服はわたをはりつけて立体的にしました。



楽しいすべり台



**樋口 花**さん（4年）  
 同じクラスの友だちといっしょに、じよんのび村へ行ってすべり台に乗りました。とても楽しかったです。色は変えたけど、形はそのすべり台がモデルです。



ワンダフルちょうちょ



**水落 里紗**さん（5年）  
 ちょうちょが好きなので、草原を飛んでいるカラフルなちょうちょを作りました。色を左右と表裏で変えています。液体粘土で軍手を固めて作りました。



池の石に  
すわってみよう...



**水落 優香**さん（6年）  
 学校の中庭に石があって、そこに座って見える景色です。池の周りに咲いている花の茎がちゃんと見えるように、周りは土の色を塗らずに白くしてあります。

## 市民の動き

■ 人口 60,200人 (-19) 男 29,418人 (-8) 女 30,782人 (-11)  
 ■ 世帯数 20,071世帯 (+15) 10月末現在 ( ) は前月からの増減